

千葉市 I C T活用工事実施要領（試行） 改定概要

建設現場の生産性向上に繋がる I C T活用工事の適用、型式・工種別で実施すべきプロセスを明確化することにより、I C T活用工事が推進されるよう「千葉市 I C T活用工事実施要領（試行）」を改定訂しました。主な改定点は以下のとおりです。

1 土工（1,000m³未満）と小規模土工の併合について

これまでの 100m³ 以下の土工に適用していた小規模土工について、出来形管理における I C Tの活用が可能となったことから、実施プロセス及び I C T施工技術が同様である土工（1,000m³ 未満）に含めることとします。

なお、積算要領においては、施工規模等により適用条件が異なるため注意してください。

2 該当プロセスの変更について

国土交通省の要領改定に伴い、以下の工種について該当プロセスを変更しました。

工種	改定前	改定後
作業土工（床掘工）	① 3次元起工測量 ② 3次元設計データ作成 ③ I C T建設機械による施工 ④ 該当なし（3次元出来形管理等の施工管理） ⑤ 3次元データの納品	① 起工測量（選択）※原則従来手法 ② 3次元設計データ作成 ③ I C T建設機械による施工 ④ 該当なし（3次元出来形管理等の施工管理） ⑤ 3次元データの納品
構造物工（橋梁上部）	① 3次元起工測量 ② 3次元設計データ作成 ③ 該当なし（I C T建設機械による施工） ④ 3次元出来形管理等の施工管理 ⑤ 3次元データの納品	① 該当なし（3次元起工測量） ② 3次元設計データ作成 ③ 該当なし（I C T建設機械による施工） ④ 3次元出来形管理等の施工管理 ⑤ 3次元データの納品

3 対象工事の変更について

国土交通省の要領改定に伴い、以下の工種について対象工事を変更しました。

工種	改定前	改定後
作業土工（床掘工）	I C T活用工事の対象は、 <u>I C T（土工）を含む工事</u> とする。	<p><対象工種> <u>作業土工（床掘工）を含む工種</u>を対象とする。</p> <p><対象規模> I C T活用工事の対象規模は、<u>以下の作業土工（床掘工）を含む工事</u>とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>平均施工幅 2 m以上の土砂の掘削等である床掘り</u> ・<u>平均施工幅 1 m以上 2 m未満の土砂の掘削等である床掘り</u> ・<u>平均施工幅 1 m未満の土砂の掘削等である床掘り</u>
地盤改良工	1) 地盤改良工 ・路床安定処理工 ・表層安定処理工 ・固結工（中層混合処理） ・固結工（スラリー攪拌工） ・バーチカルドレーン工（ペーパードレーン工）	1) 地盤改良工 ・路床安定処理工 ・表層安定処理工 ・固結工（中層混合処理） ・固結工（スラリー攪拌工） ・バーチカルドレーン工（ペーパードレーン工） ・ <u>サンドコンパクションパイル工</u>

なお、作業土工（床掘工）においては、I C T土工における関連施工工種としておりましたが、改定に伴い他工種同様に単独での発注が可能となりました。